

目的

教員としての幅広い視野と能力の伸長を図るため、授業づくりに関する授業参観研究協議を通して、具体的な授業の進め方や、改善方策についての理解を深め、実践的指導力の向上を図る。

期日
会場

令和7年6月19日(木)13:15~16:30

佐伯市立佐伯南中学校 10名出席(初任者6名、拠点校指導教員3名、市教育委員会1名)

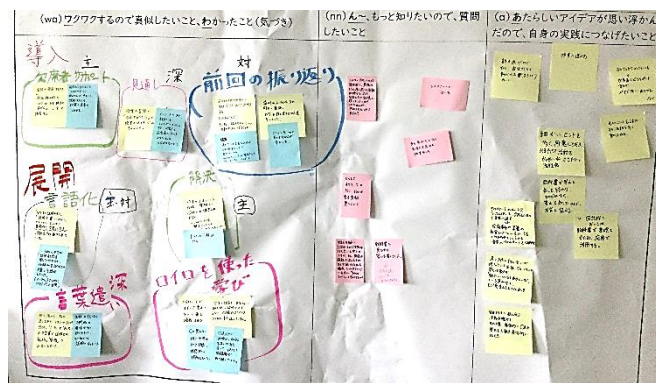
内容

- 1 説明「授業参観の視点」
 - ・主体的・対話的で深い学びの充実に向けた授業改善について
 - ・授業参観の視点について

<説明者>大分県教育庁佐伯教育事務所 指導主事 竹内 悟
- 2 授業参観「化学変化とイオン」

<授業者>佐伯市立佐伯南中学校 教諭 高志 徹 先生
- 3 授業研究会「授業の中の主体的・対話的で深い学びの場面を探り、自分の授業改善にどう活かすか」
 - ・授業者から本時の授業について(単元構想含む)
 - ・I wannaシートをつかった研究協議
 - ・まとめ、振り返り

<助言者>佐伯市立佐伯南中学校 教諭 高志 徹 先生
大分県教育庁佐伯教育事務所 指導主事 竹内 悟



【研修後の初任者の声】※抜粋

【参加者による研修全体評価】 3. 8(4段階法)

- タブレット端末を用いて考えを書き記す活動のメリットは、自分の意見を全体に共有でき、他の生徒が好きなタイミングで好きな人の意見を閲覧できる点であると気づいた。このメリットをこれから活用していきたい。
- 授業参観ではどのような視点で見たら良いかや、主体的な場面や対話的な場面などをどのようにつくるかなど、同じ初任者同士で話しながら勉強できて良かった。
- 自身の授業のやり方(生徒が飽きない工夫、テンポよく授業を進める工夫、タブレット端末の使い方)に悩んでいて、今回とても勉強になったため、ぜひ今後も、他校の先生の授業見学に行く機会を取り入れていってほしいと思います。